

四月八日

高曇り。こういう晴れでもなく、風が吹いているでもない淡い光が差しているだけの、そんな天気は良い。地下打合わせ九時シヤスト開始。十六時高橋工業社長佐々木所長来宅。佐々木さんにはお世話になりつ放しでもある。何とか将来に向けて突張ってもらいたい。具体的な応援ができぬ自分が歯がゆい。新人三名の女はどうにもならんな。早目にたたき出すのが本人達の為か。

四月九日

今日も高曇り。来週から西域に出掛けなければならぬので今週しなくてはならない事が多い。東大出版の原稿は一部書き直す。たった二〇枚のモノに苦しんでるな我ながら。現代とは何かの主題は何とも巨大過ぎて私の知識量では荷が重い。古代とは何かを書けるわけがないのと同じだ。阿良里の藤井晴正にも会いたいのだが、どうしても時間が捻出できない。オープン・テック・ハウスの展開方法がゆき当りバツタリでなければ良いのだけれど。考えながら進行させねばならぬところが辛いところだ。時間の速力だけは今は早いからな。

朝一時間をかけて屋上菜園に、トマト、キュウリ、ナスの種をまく。今日雨が降ってくれば良いのだけれど。十時梅沢良三さん来宅。三件の新規プロジェクトの構造を相談する。梅沢さんとの打合わせはいつも楽しい。プロフェッショナルな人物との打

合わせはスピードに溢れていて無駄が無い。その後、スタッフと打合わせ。コイツ等は無駄だらけだ。オープン・テックハウスの展開に意を尽す。今度は大がかりに総力戦で攻めたい。十九時洪井修さん夫妻とカンボジア留学生来宅。世田谷村スタッフと会食。次女友美も参会。小さなパーティーとなる。洪井さんのカンボジアでの将来計画、すなわち、アト何年頑張れるかのプログラムを聞く。人生有限を知る。洪井さんが日本に帰って寺を興すような事になれば手伝わなくてはね。

四月一〇日

薄曇り。昨日雨は降らなかつた。屋上菜園に種をまいたから今朝は水をまかなければならぬ。十時沖縄県東京事務所へ。沖縄でのワークショップ開催について支援を依頼する。十二時過大学へ。雑務処理。大津のこの先を考えねばならんなあ。二川幸夫に電話するも不在。海外へ出ているとの事。本当に大丈夫なのかねアノ人は。自分の体力の現状を考えるに、チヨツと異常だぜ二川さんは。呆然である。

オープン・テック・ハウスの展開について今夜も考え抜こう。